

第31回 池田町行財政改革推進委員会 議事録

日時：令和4年10月26日

午後1時30分～4時45分

会場：池田町役場2階大会議室

出席者（敬称略）

○委員 9名：（名簿掲載順）

和澤忠志（オンライン）、宮嶋将晴、山沖義和、丸山史子、瀧澤洋子、村端浩、山崎正治、赤田伊佐雄、辻庄市

○町長

○事務局（総務課） 2名：

宮澤達（総務課長）

塩原長（企画係長）

（司会：宮澤達）

1. 開会（丸山副会長）

2. 会長あいさつ（山沖会長）

今日は町長に第五次答申を渡すために、久しぶりの対面での会議になる。町長の来室は、午後四時頃になるので、それまでは、まず第五次答申の最終確認、ニュースレターの検討、議会との意見交換会の持ち方、今後の委員会審議の進め方などについて話し合いたい。

今回は第31回にあたり、長い道のりをようやくここまで来たという感じだが、あとひと踏ん張りなので委員の皆さまにはよろしくお願ひしたい。

3. 協議

（1）第五次答申案の最終確認

山沖会長

<会長から、資料6ページから11ページに基づいて答申案原案の簡単な説明があり、とくに修正意見等はなく、原案通り承認>

（2）ニュースレターについて

山沖会長

では、次にニュースレターについての議論に移りたい。

今までは、表面は町が答申の概要を書き、裏面は委員会がその背景などを書くという形で作っていたが、今回は表裏ともに町が作成し、答申内容の要約には問題点も含まれている。

11月9日発行予定にしているので、今日の議論を経て事務局で直したものを送付し、再度皆さんからコメントを頂く形にしたいと思っている。今月一杯に意見を寄せてもらえば、

11月9日の配布には間に合うだろう。

この町の案について何か意見はないか。

村端委員

「答申前文」の部分についてだが、答申本文では、ここに抜粋された文章の前に「少子高齢化の進展に伴い歳入減が見込まれる中、今後は放漫な財政運営を厳しく戒め、池田町の将来のために必要かつ効果的な補助金や事業に絞る必要がある」とある。答申全体に関わる大事な部分が抜けている。この部分は入れるべきだが、そのために他の部分を圧迫するというのであれば、原文通りの「抜粋」という形ではなく、要約的に簡潔に表記すればよい。もう少し縮められる表現もあるし、他にも重要なところは省略せず、町民の皆さんにも出来るだけ分かりやすく伝わるような工夫をしてほしい。

山沖会長

体言止めにするという方法もある。他に意見はどうか。

なければ、私の方から一つ。一番上には「第五次答申をしました。概要は次の通り」という1行があるだけだ。写真までは要らないが、この答申の重要なポイントを書いて囲みにすると見やすくなる。記事のリード部分があるといいのではないか。今回は、割と余裕のある作りになっているし、表現を工夫すれば収まるのではないかと思う。

塩原係長

前回の作成時には、行間が狭くて読みにくいという話があり、それを受けて行間を広げたものを、今回そのまま使っている。

山沖会長

文章量をこれより増やすのは難しいということか。

塩原係長

そうではなく、量的には行間を詰めさえすればかなり入る。リード部分を入れても、言葉の言い換えや簡潔な表現にすることで収まるのではないか。

宮嶋委員

文字ばかりなので、町民の目からは読んでもらえるかという気がするが、今回はグラフを入れたりすることは難しいので、そこは致し方ないかと思う。ただ、個別の補助金のうち、社協や商工会、観光協会の問題点を指摘した裏には、この財政状況下で町民の皆さんには負担をかけ迷惑をかけている事情がある。

この概要記事を見た町民は、社協などの補助金は一体いくら出ているのかが分からない

ので、数字が1面にほしい。答申の本文では、社協の補助金は1,800万円が2,800万円になり1,000万円増えたと具体的に書いてある。それがあれば、答申の理由として町民も理解ができる。商工会も同様に、600万円が940万円になったことを知って頂くことが本当は大事だ。そのくらい税金から補助しているのかと分かる。せめて、括弧書きでもよいので、数字を入れるべきではないか。

山沖会長

大変重要な指摘だと思う。確かに数字が全部抜けているので、令和4年度の数字だけではなく、〇〇年△△万円→〇〇年△△万円のように矢印を使うなどすれば分かりやすい。

また、括弧書きの説明などは省略できるものがあるので、もう少しスリム化できる。ただ、社協についての（事務局長96%）という部分は残しておいてほしいが。

塩原係長

括弧書きで削除してもいいところをこの場で指摘してもらえればありがたい。

<いくつかの括弧書き部分を指摘し確認>

山沖会長

今までの意見を踏まえて塩原さんの方で見直してもらった方が、意見を出しやすい。

塩原係長

今日、明日中には皆さんに送りたい。

山沖会長

とりあえず意見の締め切りを10月31日としておきたい。

塩原係長

自治会への配布の方法だが、今回は出来れば回覧にできればありがたいのだが。

山沖会長

印刷枚数は？

塩原係長

全戸配布であれば3,300枚、回覧なら550枚くらいだ。

山沖会長

全戸配布にしてほしい。答申を保存している人にとっては No.1 から No.4 まで全戸配布で、No.5 がなくて、いきなり No.6 があるというのも変だろう。皆さんどうか。(全戸配布に同意、確認)

(3) 議会との意見交換会について

山沖会長

では、次の協議事項の(1)に移る。

前回、議会議長から行革委員会と意見交換会を持ちたいという意向が和澤委員を通して示された。総務部会で話し合った結果、①議長から会長宛に趣旨を含めた文書を正式に出してもらい、それに委員会が応えるという形にする、②その上で、12月議会前の11月中の委員会予定日に実施する方向で調整するという事でまとまった。

これを受けて、宮嶋委員に調整に当たってもらい、11月24日に意見交換会を持つことになった。

(会場については、広さの関係から3階協議会室ではなく、2階大会議室に変更)

その日は、意見交換会を行ったあと、そのまま同じ場所で委員会を続けるということになる。宮嶋委員、和澤委員、何か補足することはないか。

和澤委員

この意見交換会の目的は何かということだが、私もやるからには実のある会議にしたいと思っている。そこで、現在の財政状況が厳しいということをデータとして整理してもらい、それを共通して確認し、財政危機対応期間にこの方針で改革を実行すべきだということをお話していただければよい。

経常収支比率も良くなっているということだが、これにはマジックがあるのではないか。依然として財政事情は厳しいということを、具体的な実態を踏まえて指摘し、議会としてもしっかりやってほしいというようにまとめて頂きたいと思う。

山沖会長

趣旨はよく分かった。その場合は、答申と合わせて資料などもあった方がよいだろうし、これまでもいくつか重要な指標を示してきた。意見交換会まで日があるので、どんな資料が必要かを総務部会でも相談するが、皆さんからも意見をお聞きしたい。

町にお願いだが、令和3年度決算が出ているので、議会の皆さんに示されているような資料を委員の皆さんにも送信してもらえるか。

塩原係長

前回か、前々回か、決算書と成果説明書について必要な人がいないかと聞いたことがあったが。

山沖会長

1枚、2枚に要約したものはないのか。

塩原係長

総合計画審議会に示した令和3年度の事業評価・検証のようなものはあるが、決算について、そのようなものがあるかどうかは分からない。

決算書や広報で示したものもあるので、総務部会で何種類か出してみて、その中からピックアップしてもらおうということによいか。

山沖会長

それで結構だ。

宮嶋委員

町から配られている今月の「広報いけだ」には、経常収支、基金、公債費など全部載っている。それを皆さんに配信すればよい。あとは、いつも出してもらっている、人件費から投資的経費までの性質別経費は計算できているはずだ。コロナの影響で国の交付金が何億円も来ているが、前回同様に、それを含めたものと除いたものの2本建てで出してもらえば、前回の数字と比較できる。

辻委員

令和2年度、3年度はコロナの影響で自治体予算・決算は異常な姿になっている。コロナを除いた数字が出るのであれば是非出してほしいし、次回では説明をしてもらえればありがたい。

村端委員

長野県が令和3年度の決算概況速報を出している。池田町が県内の町村でどの位置にあるのかを見る上では参考になる。

山沖会長

総務省がまとめている決算カードはどうか。

宮嶋委員

令和3年度は出していないし、まだ出せない。

これまでも私と村端委員とで資料（財政指標の自治体ランキングなど）をまとめたことがあったが、本当は行政であるような角度からまとめてほしいと思う。しかし、池田町は恐ら

くやりたくないだろう。

広報を見ても、実質公債費比率は 15%までは大丈夫というように、危機的なことは何も書いていない。しかし、令和 2 年度が 12.1 で令和 3 年度には 12.6 になった。そのために県内 58 町村の中で令和 2 年度ワースト 4 位が、令和 3 年度にはワースト 3 位になってしまった。県内の平均が 6.7 ということから見ても、それに近付けるように努力し何とか改善してほしいと思う。

経常収支比率も令和 2 年度は 89%でワースト 4 位だったが、令和 3 年度には交付税が 2 億 8 千万円あり分母が増えたために 81%となり、ランキングでは恐らく 10 位か 11 位くらいになっているだろう。交付税が減ればまた 90%に近くなるという状況だ。北安曇郡の他の自治体はすべて 80 以下だ。いずれにしても 80 を超えているので、それ以下を目標にしなければならない。

基金も、交付税が増えたために積み増すことができ 17 億 9 千万円になった。これは良いことだとは思いますが、松川村は 37 億円、白馬村 23 億円、小谷村 55 億円だ。別に競争するわけではないが、安定した財政をまず築くように財政運営をすることを共通認識にしておく必要がある。

以前から、松川村はこうだから池田町もやらなければならないという意識があった。とくに移住定住補助金ではそれが顕著に見られた。財政事情が全く違うのだから、松川村が一件 100 万円だしているから池田町でも同じというわけにはいかない。

行政側で資料を出してもらうのはよいとしても、嫌な面も情報提供することが必要で、それをみんなで共有しながら改善していけばよい。

辻委員

令和 2 年度、3 年度は、国からの交付金だけではなく、国も地方も税収が思った以上に良かったというプラスの特殊要因があるので、そうした点も含めて説明をお願いしたい。

山沖会長

普通交付税の再算定が行われているので、それが幾らだったのかも示してもらえればいいのか。

町長の出席が少し早くなっているようなので、休憩を取らずこのまま議論を続けたい。

(4) 今後の進め方について

山沖会長

残りの諮問事項は次のようになっている。

=====

4. 財政運営の改善に関すること

①収入増策・収入増案の考案

②中長期的財政シミュレーションの作成

5. 行財政改革の計画策定・評価検証・見直しに関すること

①行財政改革プラン・・・最終的な答申内容に加えて、人口ビジョンなども織り込む

=====

これを見ると、今から十数年前の行革委員会の答申と、それに基づく「町づくりプラン」を参考にしつつ、全ての審議を終えた後に答申を行うことが想定されていた。

ただ、そうはいつでも、今回は5回にわたってすでに個別の答申を行っており、最後に行財政改革プランを改めて出すことについては議論が必要だと思っている。

そこで、資料には、今後の進め方についての私の考えを書いているので説明したい。

①収入増策について

これは検討せざるを得ない。これには十数年前の答申が参考になるのではないかと。ただ、収入増策だけの答申もあり得るが、これまでの第一次～第五次の答申も踏まえて総括的な最終答申があってもいいのかなと思う。

②中長期的な財政シミュレーションの作成について

財政の数字は我々が持っているわけではないので、財政シミュレーションは町につくってもらうことが前提条件になる。ロードマップについては、第一次から第三次までの答申を受けて、令和8年度までの財政危機緊急対応期間のものを作成してもらうことになっているので、作成されたものをもとに意見交換することは必要だ。

財政シミュレーションについて、(b)案は、保育園建て替え問題や会染西部非農用地の内容が決まっていない中で作られたものを議論してもほとんど意味がないので、当委員会では扱わず、必要なら次の委員会を立ち上げて扱ってもらうという方向だ。

ただ一方で、役所では5年から10年の中期財政計画というものをよく作っているので参考になる。将来が全く見通せないわけなので、今のまま低成長で進んだ場合と一定の経済成長があった場合（成長実現モデル）との2種類のケースを想定して、年1回または2回シミュレーションを行っているところもある。

財政シミュレーションの(a)案は、我々の答申を全部入れた場合のシナリオAと行政が考える推計でのシナリオBの二つを示してもらい議論するというプランだ。我々としては、答申内容はすべて実行してもらいたいという思いがあるわけだから、それをアピールするためにも作るだけの意味はあるのではないかと考えている。

③行財政改革プランについて

人口ビジョンを織り込んだ行財政改革プランとなると委員会での作成は難しいので、総務部会でも多く意見があったように、そこまでは作成しないで、収入増策を含め第一次から第五次の答申を総括した最終答申をまとめるという方向になるのではないかとも思う。

皆さんのご意見をお願いしたい。

村端委員

会長からいくつかのプランについて説明があったが、現在の池田町にとって大事なことは、1年半余りにわたって検討して出した答申を、いかに真剣に受け止め庁内で議論し、方針化するかということだと思う。しかし、実際にはそれがあまり目に見えない。

例えば、美術館の問題では、答申の内容では実施しない、職員の人件費問題でも削減は行わないというような否定的な面ばかりが目につく。その他の部分がどう検討されてきたのか分からない。それぞれの回の答申については、庁内でこのように検討しこう考えているという報告もない。

だから、私たちの答申を全部実行したらどうなるのかと言ってみても、果たして意味があるのかと思ってしまう。

私たちの数次にわたる答申内容を真剣に受け止めて議論し、それをもとに財政シミュレーションを作ってもらうことがまず必要になる。従って、この委員会としては、これまでの行財政改革の基本点をきちんと押さえ、このような方向でやってほしいというものを最終的に出せばよいと思う。それをもとに、町で財政シミュレーションや行財政改革プランを作してほしいと提言して締めくくればよいのではないか。

山崎委員

行政側と私たちとの間にはキャッチボールが必要だ。町長からは第一次から第三次の答申を受けて私たちが要求した内容でのロードマップを12月末までに作るという回答を受けている。これに真剣に対応し、まず私たちが投げた球に対して返して頂きたい。

基金が増えた理由について宮嶋委員から話があったように、池田町財政は地方交付税の増額によって改善しているところがあり、自らの改革で前進しているわけではない。町は財政が健全化したように見ているが、財政状況は実は大変なのだということを町民に伝えるべきだ。数字の力には大きいものがあり、その意味で町には財政シミュレーションを真剣に作ってもらいたい。

先日野田元総理の安倍前首相に対する追悼演説を涙ながらに聞いたが、意見や立場の違いはあっても、国のためを思う気持ちで意見をたたかわせた、その雰囲気は今の池田町にほしいと思った。行革委員会と行政が本気に意見をたたかわせ、それをもとに財政シミュレーションを作ってもらいたいと思う。また、11月の議会との意見交換会でも、明るい町の未来を作るための議論がしたい。

ロードマップをまず作る。その上に、財政シミュレーション、財政計画をつくり、アクションプランになるようにしていきたい。

和澤委員

池田町が来年にかけて力を入れていくべきことは農業振興政策だ。これに相当の投資をしていかないと農業振興協議会の答申に答えられない状況になっている。だから来年度予算に農業振興経費を入れざるを得ない。農業公社をつくって、それを一つの形にしていくに

は相当な農業投資をしないといけないだろう。幾らかかるのか、何年かかるのかは分からない。しかし、いずれにしても財政シミュレーションの大きなウエイトを占めるような気がする。そのような方向になっていることだけは知っておいて頂きたい。

辻委員

今、山崎委員がキャッチボールという言葉が使われたが、確かにこちらが投げっぱなしで、球が返ってくるどころか届いているのかも分からない状況だ。年内にロードマップを出すという話だが、それでよいのか。ちゃんとしたものが出てくるのか。

塩原係長

どこまで出すかという話になるが、第三次答申までについてのロードマップということではよろしいか。この後、第五次、第六次と答申が出ると思うが、それらも含めたロードマップということも考えられる。

山沖会長

どこまでを、いつ頃までにできるのかを教えてほしい。三次まででいいので、本当に年内にできるのか。

塩原係長

第三次までと限定すれば年内に出せると思う。

宮澤課長

議会からも同じような要望書が出ている。第三次までなら年内に出せるが、答申全体となると年度内になってしまうのではないか。

辻委員

そうであれば、ここまではできる、これはできない、あるいは、引き続き検討したいという、いわばボールが返ってくるので、それを受けて我々として議論すればいいのではないか。

赤田委員

私たちが答申した内容について、役場がどうしたいのか少しも返ってきていない。役場の組織としても、塩原さん 1 人が奮闘し、他の人たちはどうなのかなという感じがする。本来、役場組織の文化が少しずつ変わらなければならないのに、1 年半経っても暖簾に腕押しのように、どこまで受けて止めているのか心配だ。

ロードマップが出てこないことには、役場の考えは分からない。これが原点になる。これからまだ 2 ヶ月あるわけだから、四次、五次についても庁内にプロジェクトチームを作って

でも、一緒に出してほしいと思う。

財政シミュレーションは、前提条件を沢山つけて議論してみても意味をなさないような気がするので②Bがよい。

美術館では、我々は1,000万円の削減をと答申したが、新聞報道では700万円程度になるとなっている。こちらでは、発電機、LED化による設備更新、その資金調達までの話をしているのに、役場の案では本当に議論しているのかどうか分からない。その意味で物足りなさを感じる。ともかく、ボールを受け取ってから次のステップに行く必要があると思う。

山沖会長

では、ここで一旦中断し、休憩を取りたい。

<休憩>

4. 第五次答申

山沖会長

第五次答申書をお渡しする。どうぞよろしくお願ひしたい。



壺町長（この部分のみ、ですます調で記載）

本日は第31回目の行財政改革推進委員会開催ご苦労さまです。

第五次答申を頂きました。今までも、一つ一つの質問に対して皆さん方のご尽力のおかげで答申に結びつけて頂いたことを、この場を借りてお礼申し上げます。

いろいろ町の方でも検討を加えておりますが、この答申に対しての反映ということにつ

いては、これから予算編成に入りますので、その中で一つ一つ吟味し、答申の内容に添えるような方向付けができればと考えているところであります。

もう少し残っている諮問事項についても、皆さま方のご協議・ご検討をよろしく願いいたします。本日は誠にありがとうございました。

山沖会長

これまで4回答申を出しているが、今回は「諮問事項3 事業の改善」についての答申になる。

<以下、答申内容について説明>

今お渡しした答申を踏まえて、意見交換をしたいので、よろしくお願ひしたい。

すでに第一次から第四次までの答申を出してはいるが、その内容が町でどのように消化され対応されているのかが我々になかなか見えない。また、情報が伝わってこないという側面があると、先ほども議論していた。そのあたりはどうなのか。

村端委員

会長の発言と関連するが、二つお聞きしたいことがある。

その一つは、行革委員会は第一次答申で5年間の財政危機緊急対応期間を設け、その中で集中的に財政改革に取り組むことを提言した。これは私たちの思いでもあるし、行政にもそれを受け止めて対応期間を設けて具体化すべきだという要望でもある。

これが実際に行政の中でどのように位置づけられ具体化されているのか見えてこないのので、この期間に集中的に取り組むという姿勢を是非示して頂きたい。

壺町長

先ほど話したように、新年度予算の中でこれを網羅していくという状況になってくるし、またロードマップを作っていくので、その中で答申の姿形が示されていくことになる。

今一番はっきりしているのは、人件費の削減が相当行われてきており、それによる効果もある反面、人員減による若干の弊害も出てきている。これをどうするかが問題だ。新年度に向けて退職を申し出ている職員もあり、新年度人事は大変厳しい状況になるのではないか。

その他の課題についても随時検討し、予算に反映させていくというように理解してほしい。

山沖会長

どのような形を考えているかは、最終的には予算で示されるのだろうが、我々としては来年3月までが一応の任期になっているので、予算が出来上がってからというよりは、その前に大体どんな方向にあるのかを示してほしい。その意味でも、年内にロードマップを作成して方向性を示してもらえないか。

壺町長

承知した。今年度末というより、今年末ということでこれまで話してきている。若干概略的になるが、方向については示したい。

村端委員

もう一つの質問だが、この委員会に対しては財政シミュレーションや行財政改革プランを作成するという諮問事項があるが、実際にはなかなか難しいのではないか。

そこで、特に財政シミュレーションに関連して、大型事業として予定されている会染保育園改築問題、会染西部非農用地について伺いたい。それに加えて、社口原農地問題がある。

会染保育園については、すでに現地改築と池田保育園との統合の2案が示されているが、いずれにしても数億円の予算が必要になる。行革委員会は、これに対して第3案ともいえるべき最小限の改修と後日の再検討という案を提示している。検討がどのように進められ、方向性をいつまでに出すことになるのか。

次に、会染西部ほ場整備に関わる非農用地について、国に対しては総合運動公園という計画を出してはいるが、昨年度の町民説明会では、町民からの意見も踏まえて今後検討を進めるという話だった。しかし、現在まで、これがどのように検討されてきたか、また検討を進めるのが全く見えない。この見通しを聞きたい。

第3に、社口原の開発を含めた農業振興の検討が行われているが、新たな起債を行わなければならないことがあり得るのかどうか。

これらは、いずれもロードマップなり、財政シミュレーションに結びつくので、現在の町長の考えを聞きたい。

壺町長

まず、会染保育園については、これまでは2案に絞り込んだが、行革委員会の答申を頂いたので、それを加えた3案でこれから検討するということになる。あくまでも、これからの少子化をどう見ていくのかが大きな課題になるので、それも含めながら来年度中には方向を出す。基本的に建て替えとなれば相当な費用がかかることは目に見えており、財政的にどうなのかということや、町民の皆さんの意見も伺っているので、それを参考に検討を深めていきたい。

次に、非農用地については、町民の皆さんからいろいろ意見も頂いたので、ある程度これまでの案を組み替えている。基本的には多目的広場という形で申請しており、県とも相談しながら、この形で承認が受けられるかどうかという段階だ。具体的な内容は現在詰めており、今年度中には方向を出すことになる。

社口原については、農業問題に大きく関わってくるので、今審議会を立ち上げて審議して頂いている。単に社口原だけの問題ではなく、池田町農業の全体を網羅して、どのような方

向にするのかを検討している。

はっきり言って、10年後の池田町の農業を考え体制を取らないと、10年後には耕作者の半分以上が変わり営農が非常に危うくなるところに来ている。

11月中には諮問の中間答申が出るので、それを受けて、町としてどのような方向を取るのか、どのくらいの費用がかかるのかを検討して行きたいと考えている。

農業問題については県にも協力頂いて、費用の分析も行い具体的な金額等もはじき出しているのですが、その通りにするかどうかは別としても、その金額を目安にして検討していくことになる。いずれにしても、11月中には答申が出るので、今年度中にはある程度方向を示すことができると考えている。

村端委員

非農用地については、運動公園というのではなく多目的広場ということか。

また、町民から意見をもらっているという話があったが、私も案を出している。どのようなプランが出され、町としてどのように検討されたのか、また、それをどこで検討することになるのか分からない。町の中で何となく検討されてこうなりましたでは納得しがたい。もう少し詳しく説明してほしい。

壺町長

町で原案を作り、町民の皆さんにお諮りをして意見を頂戴する、そういう作業が続くのではないかと。原案がないと、いろんな意見を頂いてもそのまま手を挙げるわけにはいかないし、千差万別でどれがいいのか判定しにくい。また費用もどうなのかという問題もある。

原案をつくり、費用や効果がどうかをお示しして、町民の皆さんから意見を頂戴する。この作業が繰り返されると考えている。決まったから実施するという事にはならないのでご理解頂きたい。

村端委員

国との関係ではいつまでに原案を作るのか。

壺町長

今年度一杯だ。

村端委員

それまでに、町民ともキャッチボールしながら検討するという事か。そうすると、結果的に原案と異なるものになる可能性もあるということか。

壺町長

町民から町の案に勝る案が出され、多くの町民の皆さんがそれに賛同されるのなら変わるということもある。

山沖会長

会染非農地は今年度中、会染保育園は来年度中というお話だ。ロードマップを作成して頂けるのであれば、将来的に財政負担がどれくらいかも自動的にわかる。年末までに2ヶ月近くあるので、おおよその方向だけでもロードマップで示して頂きたい。

その後は、来年度の予算編成を行うことになり、それが終わる年度末には全体像が分かるというスケジュール感でよろしいか。

壺町長

その通りだ。

山崎委員

9月議会の一般質問でも、庁舎の問題が出されたと思う。池田町の庁舎は建築からすでに50年が経過し、熊本では地震で潰れてしまった庁舎があったという話も聞く。庁舎をどうするかは喫緊の課題だと思う。

町では10年後に計画を立て20年後に着手するという話だが、70年もこの庁舎が持つかという問題だ。この話を聞いて、庁舎は危険度を増しているわけで、これは問題の先送りではないかと思った。議会の中でも今後検討課題になると思うが、早めに着手してほしいと思っている。

年末までにロードマップを示される予定だが、それを踏まえた次のステップとして明確な財政シミュレーションが必要だ。庁舎問題を含めた財政計画を立てるべきであり、何となく先送りの状況では何も変わらない。本気度が試される。

役場庁舎は町のシンボルであり、また建物はその町を表し人を表すと思う。庁舎をきちんと作り、職員にはそこでしっかりした仕事をし、町のリーダーシップを取ってほしいというのが私の要望だ。現時点での町長の生の声が聞きたい。

壺町長

この庁舎は、15年ほど前に耐震工事を終えている。従って地震に対する備えはできていると考えている。老朽化については施設個別計画があり、令和15年に大改修を行えば令和34年まで持つとうたわれている。このことを考えると、財政の苦しい中で庁舎問題は最優先課題だとは考えていない。

いろいろな課題があるので、それらを見極めながら、庁舎建て替え問題についても積み立てをある程度考えていかなければならないと思う。20年後までは十分持つかどうかは見解の違いだが、地震対策だけはしっかりやっており、今後とも部分改修もやっていきたいと考

えている。

赤田委員

先ほど、答申への対応を予算編成の中で考えていくという話だったが、順番からすると、答申に対するロードマップができて、それに基づいて予算編成をするべきではないのか。予算編成が先ではつじつまが合わない。

また、大口の投資に対する町長の判断の中で、アンケートという言葉が出てきたが、住民が一万弱いる中で、100件そこそこのアンケートでは判断基準にならない。検討課題の中では必要かもしれないが、町長の将来像の中で、これは必要だ、これは規模を縮小すべきだという形で判断してもらわなければならない。今の池田町のまま手を打たないでいけば、大口投資の全部は絶対にできない。

行革委員として、結構厳しい答申をさせてもらっているが、理事者や役場職員がそれをどのように捉えているのか。例えば、これはできる、これは何年か先だというような話が少しも返ってこない。それが一番切ないことだが、是非ともキャッチボールできるようにして頂きたい。

壺町長

少し認識の違いがあるように思うが、私はこの答申を頂いて、できるところは着手しているが、いろいろなところで協議をする必要や意見を聞かなければならないこともあるので、速やかに答えを返すということとはできない。どうしてもトータルに問題をどう捉えるのかということになるので、年内にはある程度の方向付けをしたいと考えている。

山沖会長

いつ頃何をやるのかというロードマップを年内に示して頂ければ、来年度予算に関わるものについては予算編成に反映されるというように理解すればよいか。そのロードマップで、財政危機対応期間に何をやるかを年内に示して頂けるというように理解してよろしいか。

壺町長

そうだ。

山崎委員

庁内で、いわゆるアンプロ（財政安定化プロジェクト）が昨年立ち上がって、一つの動きができたと思うが、現在の状況を教えて頂きたい。

壺町長

令和3年度に、かなりいろいろな面で予算を削減し、それを今も継続している。ただ、どうしてもやらなければならない事業は復活することも考えているところだ。

令和5年度については、これまで押さえ過ぎた部分もあるし、今日頂いた答申を精査しなければならないので、それを合わせて令和5年度の予算編成に当たりたい。

山沖会長

長時間ありがとうございました。年内にロードマップを示して頂けるという力強い言葉を頂いたので、まずはそれを見させてもらい、財政的にどのような影響を及ぼすのか意見交換をさせて頂きたい。

<町長退席>

5. 協議（続き）

山沖会長

これまでの流れを整理すると、町長からは12月までにはロードマップを示して頂けるということなので、その説明を受けて改めて町長と意見交換することは十分あり得る。

会染保育園は我々の案を含めて3案で検討し次年度中に結論を出すこと、非農用地は年度内には原案を作ること、ロードマップを踏まえて予算案に反映することなども町長から確認出来た。

そこで、次の課題である増収策について検討することになる。前にも話したように、増収策と合わせて第一次から第五次までの答申を総括した形で最終答申を作る方向で考えていきたいが、それでよいか。（確認）

町は行財政改革プランをどのようにイメージしているか定かではないが、最終答申はそのプランの一つとして位置づけていきたい。

また、ロードマップの扱いだが、12月までに作成してもらえるので、年明けに意見交換するというのが現実的ではないか。この扱いについて何か意見はないか。

宮嶋委員

12月末までに出すということなので、審議は1月になる。

ただ、我々の第一次から第三次までの答申に対する行政の考え方を5月、6月に頂いたが、そのうちの半分はやらないという結論になっていた。そういう中でロードマップを作ってもらってもまた同じことになりかねない。議論してみても堂々巡りになるような話だ。話をするには、答申に対するある程度の答が出ていなければならない。従って、やらないというロードマップをもらっても審議する価値がないのではないかと個人的には思う。それはともかく、やらないなりに出してもらうことは必要だと思う。

なお、財政シミュレーションについては、B案でまとまるという理解でよいか。ここに来

て、保育園、非農用地、それに農業の方向性など今後の動きが分からないし全く定まっていない。そんな中で財政シミュレーションを出してくれといっても要求しづらい。また、B案C案まで出されても、会染保育園は委員会の結論を出して答申を終えている。

だから、この委員会に財政シミュレーションを出すことには意味がないので、当委員会では扱わず次の委員会でしっかり検討頂き、これで行くという数字を出してシミュレーションを出してもらうのがよいと個人的には思っている。今後は、収入増、ロードマップを含めて第六次の最終答申に行くべきだ。

勿論、この委員会は、町長の諮問機関である以上、我々がこのように決めましたというわけにはいかない。総務課長を筆頭に町長と話をし、行政側として諮問事項をどうするか、こういう状況でも財政シミュレーションを出すようにするのか、または来年度以降に仕切り直すのか、ボールは行政側にあるので検討をお願いしたい。

山沖会長

宮嶋委員から、やらないことが分かっているから議論することに意味がどれだけあるのかという話があったが、我々としては全部やってもらいたいという思いがある。では、やらないことが決まったあとの財政シミュレーションにどれだけの意味があるのかを逆に宮嶋委員にお聞きしたい。

宮嶋委員

我々の答申はやって頂くことに意味があり、光が当たることになる。やらないことになる、ゼロとは言わないがほとんど光が当たらないただの紙だ。ある人は答申をみて、このときはこのような答申があり勉強になるという発言があったが、私はそんな考えにはならない。やらなければいけないという答申をしている。3年、5年後にやればよいという答申はほとんどない。だから、答申をやらないのなら議論する価値はないと、私ははっきりそう思っている。

山沖会長

それなら、町が決める前に財政シミュレーションを作ってもらった方がよほど意味があるのではないかと。ロードマップまで作れば、その財源も示さなければならない。

宮嶋委員

行政は、保育園の改築には7億円（現地建て替え）、4億円（1園に統合）かかると言っている。非農用地にも7億円程度かかると説明されている。11月の農業振興に関わる答申が出て、お金が要るようになるのかどうか。この財政難において、その答申がでたからといってそれに乗るのか乗らないのかが大きな問題になる。こうした大きな問題に対する方向が定まらないのに、その他の小さな問題をロードマップに位置づけて議論してみてもどうな

るのか。大きな問題に左右されてしまう。保育園については1億円程度でという我々の答申を棚上げして、それ以外のものを審議してもあまり意味がないのではないかというのが私の意見だ。

山沖会長

これまでも財政シミュレーションを毎回出している。非農用地を入れるシミュレーションも出しているわけで、今回もロードマップに反映して予算を作り、今回もそのようなシミュレーションを作るのではないのか。

宮澤課長

前の非農用地の際のように、仮定の話にはなるが、財政シミュレーションは作るようになる。

山沖会長

そうであれば、実施するかしないかに関わらず財政シミュレーションが出てくるので、後はそれを審議するかしないかになる。私としては、出てくる以上はむしろ審議すべきではないかと思う。せつかく2年近く話をし、それについて町長とも意見交換を行うことには一定の意味があると思う。

宮嶋委員

総務課長の話は、どんな状況であろうとA案B案C案・・・をこの委員会に出すということによいのか。それとも、まだ決まっていないから検討課題だということか。

宮澤課長

財政問題で、もし町民説明会をやることになれば、いろいろな想定案を作ることもあるが、もしそうでなければ、前の町民説明会のようなシミュレーションは作らない可能性もあるということだ。

宮嶋委員

今現在は、どちらにいくかは決まっていないということによいか。であれば、今日の議論を踏まえれば球は行政にあるわけだから、どんな状態でも諮問すると町長が言えば我々はそれに答えなければならぬ。それが我々の立場だから、会長がその作業をどうするかというのはちょっと早いのではないか。行政の動きを見てから、そこで審議してもよいのではないか。

山沖会長

ここでは、A案B案C案を全部出せという積もりもないし決める必要もない。我々が言っていることを全部入れたらどうなるかくらいは出してもらってもいいのではないかと思うが、それも要らないということならそれでも構わない。

ただ、どこの市町村でも5,6年～10年くらいの財政シミュレーションは作っているの、それが作られれば議論することはあるだろう。

ロードマップを作る以上は、何をやるのかもがあるが、財政状況がどうなるのかを注視する必要があるの、それについての話は聞かせてもらうということだ。予算編成が終わるのは1月の終わりくらいなら、それまで2ヶ月残っているの、住民説明会があるのかどうか分からないが、2月あたりには数字が出てくるのではないか。

財政シミュレーションやロードマップは答申に盛り込むのではなく、作成は行政側にお願いしなければならない。この点はよろしいか。

では、今後の進め方については、第一次答申から第五次答申と増収策を踏まえた最終答申をまとめること、行財政改革プランは作成しない方向で考えていきたい。また、財政シミュレーションは町で作ってもらえるのであれば作ってもらうことにする。

6. 今後のスケジュール

山沖会長

11月10日（木）はオンラインで行い、増収策について相談させて頂く。

11月24日（木）は、役場2階会議室で議会との意見交換会

12月7日（水）、26日（月）については、増収策や最終答申の原案の作成状況を見ながらオンラインを中心に議論を進めたい。

<1月の日程について相談の結果、次の通りに決定>

1月12日（木）午後1時30分～

1月26日（木）午後1時30分～

12日、または26日に最終答申できれば、役場に来て頂くということになる。

ロードマップについては、1月12日に意見交換ができるかどうか、財政シミュレーションが出来上がれば、2,3月に1回くらい評価・検証の意味も込めて委員会を行う可能性がある。

塩原係長

11月10日に決算の説明をという要望があったのだが、どう扱えばよいか。

山沖会長

お願いしたい。

塩原係長

「広報いけだ」とその他必要と思われる資料を用意したい。

辻委員

令和元年度、2年度、3年度の資料が要る。

塩原係長

その方向で準備したい。

宮嶋委員

令和2年度までは、私と村端委員とで資料をつくり情報提供した。

塩原係長

その資料に令和3年度をつけるということでもよいのではないか。

山沖会長

次回の11月10日は、24日の議会との意見交換についても相談したい。また、第六次答申に向けての話も考えている。

なお第六次答申の原案作成だが、ここまで来ているので、総務部会を新たに作るのではなく、現在のメンバーを継続することでよいか。(承認)

6. その他

山崎委員

増収策について、ふるさと納税の資料が必要ではないか。財政収入を増やす一つのポイントとなっており、とくに返礼品を何に特化していくのが重要だ。池田町では、今まで成果が出ている返礼品にはどんなものがあるのか、また決算書などのデータも必要ではないか。

塩原係長

ふるさと納税だけの経緯をまとめたものもあるが、今日の渡した評価シート3ページの中にも額が入っている。納税の年間寄付金は令和元年度6,000万円、2年度7,000万円、3年度は1億1,000万円となっている。ただ、商品や委託業者への支払いで半分ほどが使われており、残りが町の純粋な収入になっている。

山沖会長

返礼品のトップスリーは分かるはずだ。

山崎委員

トップはワインだというのは情報としてはわかるが、その他に何があり、どのくらいの数字で動いているのかが分かればよい。

辻委員

新聞に松本市のふるさと納税が非常に増えているという記事があったが、返礼品の上位品目に加えて、収支がどうなっているのか、実質の収入がどれだけあるのかも教えて頂きたい。

なお、クラウドファンディングのような取り組みをやっているのかどうか。

塩原係長

クラウドファンディングはやっていない。

辻委員

ふるさと納税は開拓の余地はまだまだある。やればやるほど収入が得られるので、出来るだけ詳しく説明してほしい。

収入増対策では税の収納対策などは組織的にやっているのか、次回に説明してほしい。

赤田委員

旧北保育園、商業エリアの土地がずっとそのままになっている。この点も収入増対策の話の一つとして伺いたい。

山沖会長

では、収入増対策などについては、総務部会で相談させて頂くことにする。

7. 閉会（丸山副会長）